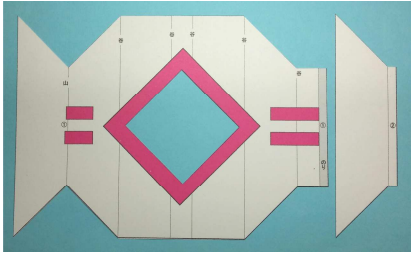


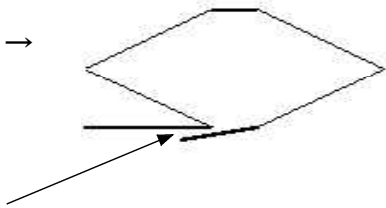
パクちゃんの作り方

- (0) 型紙を厚手の紙に両面印刷する。
- (1) 型紙からパクちゃん本体と尾びれを切り取り、口を切り抜く。



- (2) 千枚通しの先を寝かして、山折り、谷折りの折り目をつける。

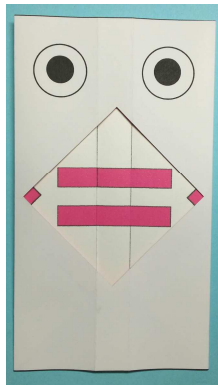
真横から見ると→



ここが①の貼り付け部分

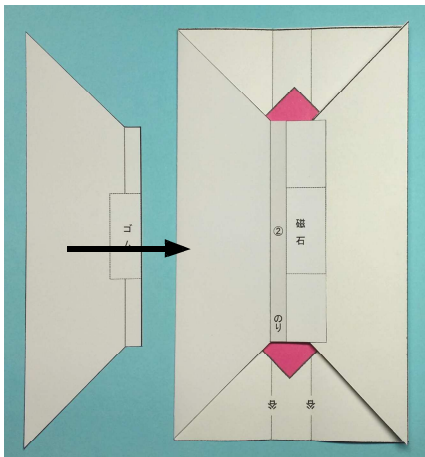
- (3) 押しつぶした（ペッタンコ）状態で①を貼り合わせる。

※口の中の等号記号がまっすぐにつながるように微調整して貼る)



(ひっくり返して)

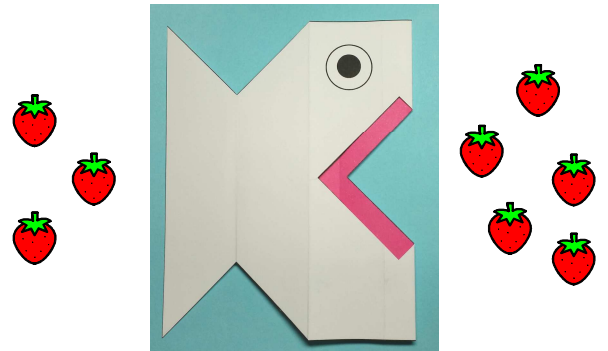
- (4) 尾びれを②で貼り合わせる。



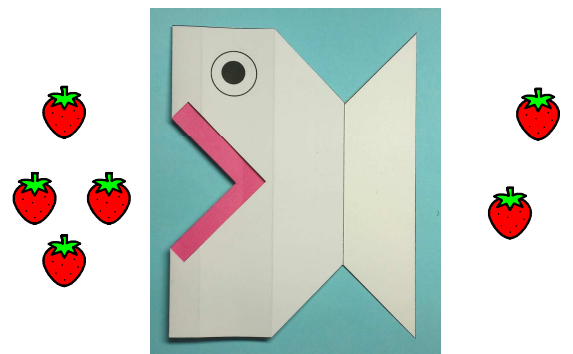
- (5) ゴム磁石を貼って完成。

使い方

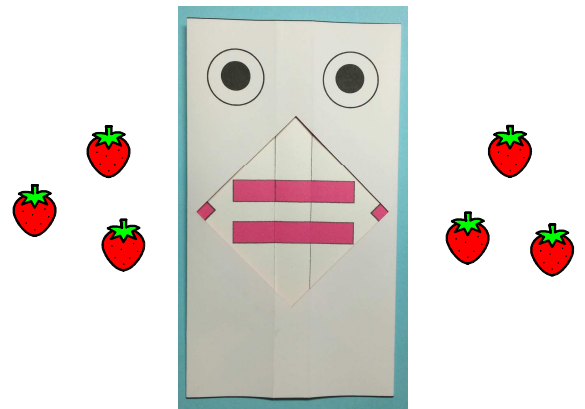
- (6) 右に倒すと



- (7) 左に倒すと

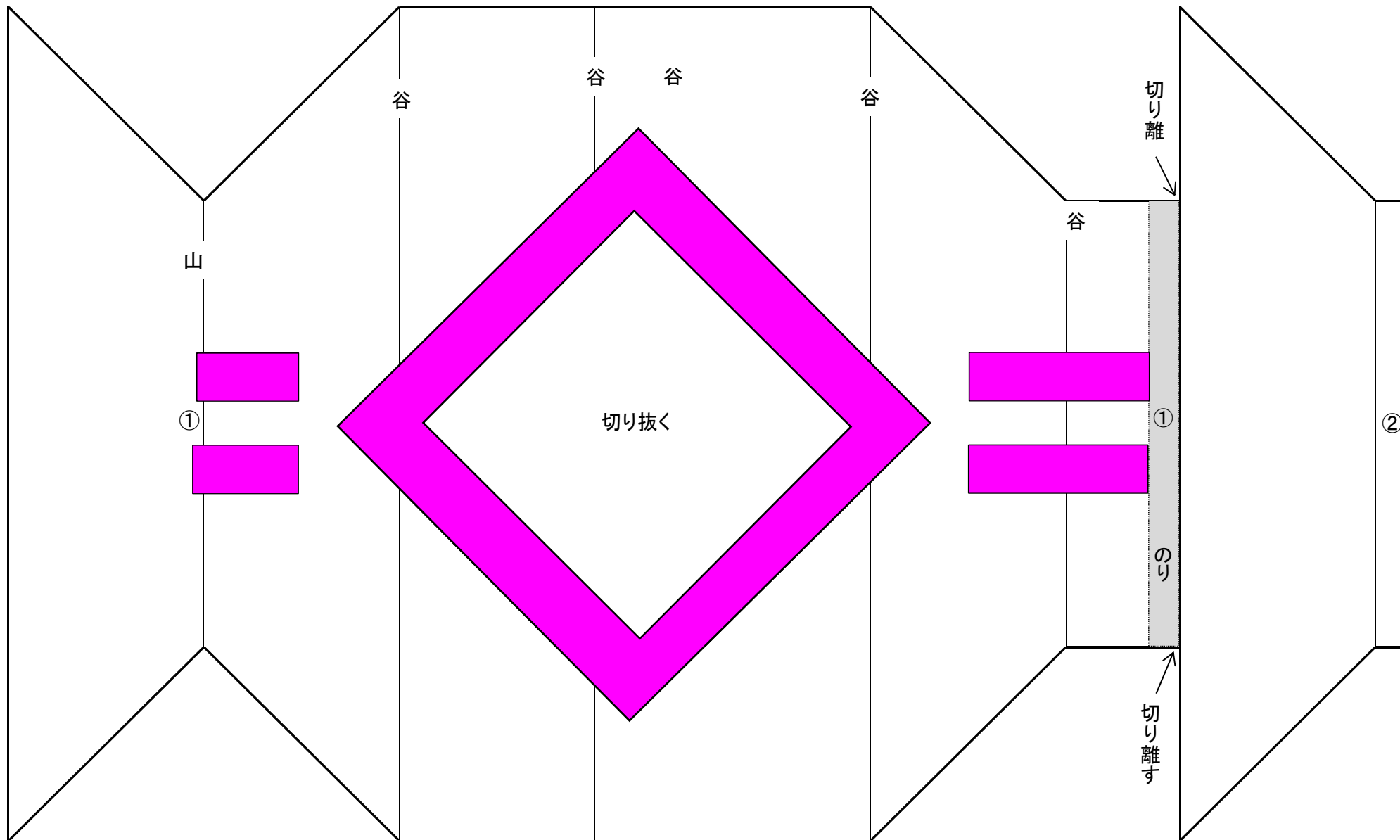


- (9) 押しつぶすと



※今回の型紙は Ver II です

Ver I の型紙では、等号記号の部分の貼り合わせが2ヶ所だったため、記号がずれないように貼り合わせるのが少し難しかったです。そこで、貼り合わせを1ヶ所にして、片方の尾びれはあとで貼るという型紙にしてみました。少しは、作りやすくなったような気がするのですが…。



この型紙の原典は、佐伯淳氏の「魚のパクちゃんて不等号・等号を学ぼう」（子どもがよろこぶ算数活動2年 国土社）です。パクちゃんを使った不等号の実践は以前から知っていたのですが、このパクちゃんは、不等号だけでなく「同じ大きさのときに、右か左か困って口が等号になる。」仕組みを併せ持つところがすごい！と感動しました。そこで、色紙を貼るところをあらかじめ型紙に色を付け、両面印刷方式にして、「切って、折って、貼れば完成」する型紙（©小田富生）を作成しました。

